

保護者の皆様

千葉市立千城台南中学校長

地震・津波に備えた対策及び大規模地震時の対応について

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、お礼申し上げます。

首都圏においては、近い将来、大規模地震が高い確率で発生すると言われており、本市においても被害想定がされています。本校では、非常時に備えた対応を下記のとおりとしておりますので、内容をご確認ください。

記

1 学校における日常の地震・津波対策

- (1) 学校施設の安全点検
定期的な校舎の安全点検の実施、転倒物・重量物等の転倒防止対策 等
- (2) 学校施設設備の状況の確認
- (3) 生活用水、防火用水の確保
- (4) 防災地図（ハザードマップ）等による地域の実態把握
通学路や地域の危険箇所の把握、学区の災害リスクの把握、広域避難場所までの経路の確認 等

2 避難訓練・防災教育の充実

- (1) 避難訓練
 - ①年間を通して教育課程の中に位置付け、児童生徒が目的を理解しながら実施
 - ②通常の避難訓練に加え、引き渡し訓練や避難場所を考慮した訓練等、より実践的な訓練の実施
- (2) 防災教育
 - ①各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等学校教育活動全体を通し、防災教育を実施
 - ②避難訓練を通して、適切な状況判断力と冷静な行動力の定着

3 大規模地震時の初期対応

- (1) 児童生徒の在校中に地震が発生した場合
 - ①安全確保行動（活動場所で身を守る行動）
 - ②避難場所への移動（「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」）
 - ③判断 情報をもとに、「通常下校」、「集団下校」、「保護・引き渡し」等、判断する。

【「保護・引き渡し」について】

千葉市域で震度5弱以上の地震が発生した場合、学校で児童生徒を保護する。

学校施設の被害状況、電気・水道・ガス等の状況、大津波警報・津波警報の発表状況等を把握し、「自校内で保護」か「別の場所（広域避難場所等）で保護」か判断する。その上で学区や通学路の状況、生徒の身体的・精神的状況を確認し、状況に応じて「通常下校」「集団下校」「引き渡し」を判断します。その際は「すぐー」により可能な限り、家庭に事前連絡いたします。ただし、大規模災害時は、緊急車両が通行しますのでお車でのお迎えはご遠慮ください。

- (2) 児童生徒の登下校中に地震が発生した場合
 - ①看板、家屋の外壁、高いビルの窓ガラスなど落下物から身を守る。（安全確保行動）
 - ②登下校中に地震が発生した場合には、原則として、学校に向かう（戻る）こととする。
 - ③登下校中でも、学校よりも明らかに自宅に近い場合や、途中で他の学校・公民館等の避難場所がある場合などは、学校ではなく自宅や避難場所に避難する。また、大規模地震が発生した場合には携帯電話等の通信機器が使えない状況も予測できますので、ご家族がお互いに安否を確認する時間・方法・場所等をあらかじめ話し合っておいてください。
 - ④地震発生時や直後には危険な場所には近づかない。（余震が起こることを想定して行動）
- (3) 児童生徒の在宅時に地震が発生した場合

児童生徒の下校後から翌日午前7時までの間に、市内で震度5弱以上の地震が発生した場合は自宅待機とする。解除の連絡は、校内および学区の安全を確認した後、学校ごとに保護者へ行う。

